

ごあいさつ



本市は額田町との合併により、豊かな自然環境が大幅に増え、水道水の約5割を生み出す乙川の水源地から流域のすべてが、市域となりました。しかし、その実態は、山林の荒廃により保水力の低下が見られます。市街地に目を向けると、河川に生活排水が流入し、水質汚濁の問題を引き起こしています。

こうしたことから、健全な水循環を確保し、そして創造するために、“水”に関する理念を示す「岡崎市水を守り育む条例」を制定いたしました。

このほか、水環境をはじめとして、本市の将来環境について長期的・総合的な視野に立つ「岡崎市環境基本計画」を策定しています。本計画は策定から10年近く経過し、中核市への移行による権限移譲のほか、額田町との合併など、本市を取り巻く環境が大きく変化してきました。

この変化に対応するため、また市民協働の機運の高まりなどから、本計画を大幅に見直すことにしました。見直しにあたっては、市民・事業者・行政の協働組織である「環境まちづくり市民会議」で、行政主導ではなく市民の目線に立って、プロジェクトの検討を重ねてきました。今年3月には、市民会議の委員自ら企画・運営する「環境まちづくりプロジェクトご意見ちょうだい会」を開催し、多くのご意見・ご提案をプロジェクトに反映させることができました。

今後も市民との協働により、プロジェクトの推進を図るとともに、本市の豊かな自然環境と快適な生活環境を市民の皆様とともに築き、そして守ることができるような諸施策を推進していきますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

本年度も、本市の環境に関する現状及び諸施策を「白書」としてまとめました。環境の保全や創造に向けた取り組みを進めていただくにあたり、少しでも活用していただければ、幸いに存じます。

平成20年10月

岡崎市長 **柴田 純一**



もくじ

巻頭特集	1
環境まちづくり市民会議	
水とみどりの森の駅	3
健全な水循環を目指して	5
岡崎市一般廃棄物中間処理施設（ごみ処理施設）建設事業	7
岡崎市環境基本計画の概要	9
環境目標 1 水と緑豊かな自然とふれあえるまちに	13
行動 1 豊かな自然を守り、育てる	
行動 2 身近な自然を育てる	17
環境目標 2 安全で健康な暮らしができるまちに	19
公害の現況	
1 大気汚染	
2 水質汚濁	21
3 土壌汚染	24
4 ダイオキシン類	
5 騒音	26
6 悪臭	
7 地盤沈下	27
8 交通公害	28
行動 3 きれいな川を守る	32
行動 4 交通公害対策を推進する	35
行動 5 事業所の環境対策を推進する	38
行動 6 近隣公害対策を推進する	43
環境目標 3 歴史や文化を育む風格あるまちに	44
行動 7 歴史や文化を守り、育てる	
行動 8 まちの良好な景観をつくる	47
環境目標 4 地球環境に配慮するまちに	50
本市のごみ事情	
行動 9 ごみ減量とリサイクルを推進する	51
行動 10 地球温暖化を防止する	62
岡崎市役所の取組と効果	66
環境目標 5 環境を考え実践するまちに	69
資料編	

